



私のひとりと

「淋しい夏」

舞鶴若狭自動車道が開通し、はや一ヶ月にもなる。一日6000台の通行を見込んでいたそうだが、予測を上回る9000台もの車が利用しているようだ。それに景色が良いとの評判で、その噂に誘われ、私はまったく用も無いのに走ってみることにした。ETCカードを使えば、後日、経理担当の家内から「何の用で？」とツッコミが入るのを恐れ、現金払いをするという手の込みよう？である。敦賀から小浜までの約30分。高い場所を走る道路からの眺めは普段見慣れ



た景色とは別格で、知り合いの家などを見つけるだけで心がワクワクする。三方五湖の一つ「菅湖」付近のサービスエリアの眺めも良好で、まったく良い場所に設けたものだと感心させられた。また、僅かな区間距離にも関わらず、各市町村ごとに設けられたインターチェンジの多さにも驚かされた。これは、全国的にも珍しいと思われる。対面通行で少しのよそ見もしづらいのが難点なくらいで、全く便利になったものである。新聞によると各地の観光地の来場者数も軒並みアップで、早速、経済効果が表れているそうである。仕事の上では、私達も現場移動が容易になり、商圈の拡大も可能となる。ところがそ

んな明るいニュースが飛び交う中……。喜べる事ばかりではない。

当社の前に一軒のコンビニがある。そのコンビニは当社が現在の場所に移転した平成8年と同時期ぐらいに建てられたもので、毎年夏になるとジェットスキーなどを引っ張った若者達で朝早くからごったがえし、その賑わいは深夜まで続いた。会社からコンビニを眺め「うちも、あれくらい人が来てくれるといいね〜」「いやいや、あれだけ来られたら対応できんで〜」などと、うらやましがったものである。またそのお店は系列店の中でも全国上位の売り上げであるとも聞かすが、その賑やかさは周辺の地域をも活気づかせてくれた。ところが18回目の夏にして、あの賑やかな光景はまだ一度も見られていない。近くのカソリンスタンドも、例年の夏に比べお客様はガタ減りで死活問題だと嘆いている。私なりの予測では、他県に例を見ないほど小刻みに作られたインターチェンジにより、ダイレクトに観光地に行けるようになった為、今まで観光地と観光地とを結んでいた幹線道路が空洞化したものと思われる。多少予測はしていたがこれほどまでとは……。コンビニやスタンドとは長くご近所付き合いをしているだけに、あらためて商売の難しさと怖さを身近に痛感することとなった。勿論私達も他人事ではなく、商圈の拡大が可能な分、他県の業者からも商圈とされ、今後新たな戦略で立ち向かう必要に迫られている。ただ、私にとって今年の夏は少し心淋しい夏になった……。



ではまた来月もお会いしましょう。
今月も最後まで読んでいただき……、

あーがしう
ございました!!

